

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 254

2017年

1～2月号

2017年の年頭に当たって

会長 間野吉幸

明けましておめでとうございます。

今年は当会が発足して45年目を迎え合わせて酉年です。節目の年に会員の皆様のお力で大きく羽ばたきたいと思えます。

昨年の会の活動を振り返って見ますと会の中心活動である探鳥会は、従来ベースに加え新しい探鳥地や他団体との交流探鳥等を行い会の活動範囲を広めました。特にJBFで交流を深めた台湾は会の正式行事として1月に、モンゴルには有志で6月に探鳥旅行を実施し親交を深めました。

野鳥への関心を高める為、啓発活動に力を注ぎました。「JBF」は延べ109名の会員の参加を頂き、多くの来場者で賑わい成功裏に終了しました。また山階鳥類研究所の平岡さんに講師をお願いして2月に実施したバードウォッチング講演会は、会場が満席になり内容を含めて大好評でした。その他「あびこ市民活動メッセ」への参加、小学校への探鳥指導及び野鳥講演、一般市民へ数次にわたる探鳥指導を行い野鳥啓発に努めました。

当会のデータベースは着実に進化整備されて来ています。会の活動記録は写真を含めたデータとして記録しました。また会員の皆様から投稿されている「鳥便り」は延べ98千件余りになりました。1972年10月から2016年11月までに記録した種数は239種に上りました。2016年に記録した種数は136種で、その内、初めての種は、アカガシラサギ、アネハヅル、コグンカンドリがあり、貴重な記録となり、地域の財産になったと思えます。皆様の身近な観察が貴重なデータとなりますので積極的投稿をお願い致します。

会員の皆様が会の活動に魅力を感じるよう、今年は次のことを進めたいと思えます。

- (1) 魅力ある探鳥会の検討、開発。
- (2) 会員を増やす活動の推進。
- (3) 各種イベント等への一般会員の参画拡大。
- (4) 既存諸活動の深化と他団体等との交流。

会の発展のために皆様のご支援を賜りますようお願い致します。

行 事 案 内

1月手賀沼探鳥会

期 日 1月8日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 2017年最初の定例手賀沼探鳥会です。冬鳥と手賀沼の水鳥の最盛期になります。最近はカンムリカイツブリが多くなっていますが、カモ類も安定して見られています。ミサゴにハヤブサ、チュウヒなどの猛禽類、葎原にはオオジュリン、アオジ、ベニマシコ、田んぼのタゲリやミヤマガラスなど、多くの鳥たちと出会い、今年の鳥運、鳥果を願いたいと思います。

解 散 正午頃
担 当 桑森

イ、カシラダカ、シメ、ミコアイサなどが見られることもあります。昨年1月は25種、2月は28種の野鳥を観察しました。草木の花はオオイヌノフグリ、ハコベ、ホトケノザが、木ではサザンカが咲く程度ですが、ヨシ、ヒメガマ、セイタカアワダチソウの種子、ラクウショウ、メタセコイア、ヤツデ、キツタなどの実がなります。草木の種子を啄む小鳥の様子を愛でながら冬の手賀沼周辺の探鳥を試みましょう。参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解 散 午前11時30分
担 当 鈴木静治
Tel : 080-3121-4757

2月手賀沼探鳥会

期 日 2月12日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 毎年増えているカンムリカイツブリや、カモ類など冬鳥の真っ盛りな季節です。お目当てのミコアイサやタゲリを探したり、タカ類に注意しましょう。ベニマシコが出るとよいですね。

解 散 正午頃
担 当 松田

1月、2月手賀沼定点カウント

期 日 1月7日(土) 雨天延期
2月3日(金) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前9時
解 散 正午予定
担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮
連絡先 桑森亮
Tel : 04-7182-3149

1月、2月ピオトープ調査

期 日 1月5日(木) 雨天延期
2月2日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ：午前9時30分
案 内 1-2月はコガモ、ツグミの他に、アオジ、タヒバリ、オオジュリンが多く見られるようになります。アリス

本埜・印旛沼探鳥会

期 日 1月22日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 印西市本埜(旧本埜村)に水が張られた水田があり、関東では最大級のハクチョウの飛来地として知られ「白鳥の郷」と呼ばれています。毎年飛来数が増加しており、日中でも数百羽が見られます。コハクチョウが中心ですが、オオハクチョウも混

じり、亜種アメリカコハクチョウや他の珍鳥が見られることもあります。

もう 1 か所は北印旛沼の周辺を巡ります。20 年ほど前から住み着いているモイロペリカン、水鳥に猛禽類など多彩な野鳥との出会いに期待しましょう。

帰途には印西市の別所調整池にも立ち寄り、オシドリも観察したいと思えます。

地元我孫子市からほど近い有名探鳥先ですが、冬に訪れるのは当会としては初めてかも知れません。

交通 自家用車分乗です。便乗者は一人 1,000 円を運転者にお渡しください。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

持物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)

申込 桑森亮まで
Tel/Fax : 04-7182-3149

担当 古出、石井、桑森

井頭公園探鳥会

期日 1月28日(土) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時
交通 中型バス
(富士交通 047-459-9191)

案内 恒例の探鳥会です。今年も昨年に続き土曜日に行います。例年、山野の鳥、水鳥合わせて40種以上観察されています。バードソンも楽しみます。ミヤマホオジロ、トラツグミ、ベニマシコ、ルリビタキ、マガモ、ミコアイサ、ヨシガモ...期待しましょう。お土産に栃乙女も好評です。

定員 30名
費用 3,500円
持物 観察用具、防寒具、弁当(途中購入可)(念のため雨具)

申込 松本勝英まで
申込み期限 1月18日

Tel : 04-7187-1704

担当 松本、小林(寿)

渡良瀬遊水地探鳥会

期日 2月19日(日) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時
案内 久し振りの渡良瀬遊水地探鳥会です。同遊水地は約33平方kmもの広大な面積があり、2012年には通称ラムサール条約(水鳥湿地保全条約)に登録された絶好の探鳥地です。谷中湖では沢山の水鳥、三つの調節地では季節の小鳥、上空ではチュウヒ、ハイイロチュウヒ、チョウゲンボウ、ノスリ等の猛禽類が期待できます。

交通 自家用車分乗です。同乗者は一人 1,500 円を運転者にお渡し下さい。自家用車を提供可能な方は申込時にその旨ご連絡ください。

持物 観察用具、防寒具、飲物、昼食(途中購入も可)

申込 野口隆也まで
Tel : 04-7163-7898

担当 石渡、野口(隆)

常磐港巡り探鳥会(3月実施)

2度目の企画である今回は、海鳥の北上時期に合わせ実施致します。早い個体は夏羽に変わりつつあるこの時期、思わぬ出会いを期待しつついわきの小名浜港からスタートし、南下しながら港、港を訪ね2日間で銚子まで走ります。前回はアラナミキンクロ、ケイマフリなどとも出会えましたが、今回はどんな鳥達と出会えるか?基本は水鳥観察ですが、直近の情報によっては陸の鳥も訪ねます。何時もとはちょっと違う鳥達を、是非ご一緒に楽しみましょう!

期 日 3月4日(土)~5日(日) 雨天決行
集 合 我孫子駅北口 ふれあい広場前
午前7時30分
交 通 小型バス(進和観光)
定 員 20名(先着順)
宿 舎 いそざき温泉「ホテルニュー白亜
紀」
茨城県ひたちなか市磯崎町 4604
Tel: 029-265-7185
費 用 24,000円程度(参加者20名の場
合)
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食、飲
み物
申 込 金子雅幸まで
Tel: 04-7133-6944
* 旅行障害保険に加入の為、生年月日
をご連絡下さい。
担 当 松田幸保、金子雅幸

道 東 探 鳥 会 (6月実施)

当会の公式行事としては初めての北海道の探鳥会です。4泊5日のツアーで、探鳥先の例としては定番の釧路湿原、霧多布・根室方面、春国岱・野付半島、知床方面、オホーツク沿岸原生花園などの北海道東部を巡ります。

期待される鳥の例としては、タンチョウ、オジロワシ、シマフクロウ、ノゴマ、ハシブトガラ、オオジシギ、センニュウ類などで、北海道ならではの鳥たちを探します。

探鳥会の時期は6月とまだ先ですが、準備等に日数を要するため、大枠でご案内します。今後、詳細スケジュールを検討して、参加者の皆さんにお知らせすることになります。また、集合場所(我孫子駅又は羽田空港など)や宿舎についても今後検討することになります。

なお、本探鳥会に関する事前説明会(第1回)を1月に開催することを検討しています。決まり次第メーリングリストで周知しますが、Eメールを使用していない方は申し込み先までお問い合わせ下さい。

期 日 6月12日(月)~16日(金)
交 通 航空機で北海道へ移動
北海道では貸し切り小型バス利用
費 用 概算で10万円程度(詳細決定後、
最終決定)。航空券予約の都合上、
一部費用を前金で集めさせていただきます。
定 員 20名
締切り 1月末を申込み締切りにします。定
員になり次第締め切りますので、早
めに申し込んで下さい。
持 物 観察用具、雨具、防寒具、常備薬等
申 込 松本勝英まで
Tel/Fax: 04-7187-1704
担 当 松本勝英、金子雅幸、田中功

亀成川を愛する会探鳥指導

当会は、毎年、亀成川を愛する会の探鳥会に協力しています。今年度も、亀成川流域の里山散策シリーズ第15回「冬鳥を探そう」へ協力し、探鳥指導を行います。

別所谷津公園や調整池、別所緑地の園路を歩きながら、身近にひそむ小鳥や水辺を泳ぐカモたちを探します。

日 時 2月5日(日) 9:30~12:00

雨天中止(スタッフ集合は9:00)
集合場所 牧之原地域交流センター駐車場
(印西市牧の原3-1-2 牧の原小学校内)

第22回「野鳥サロン」のご案内

第22回野鳥サロンを下記のように開催します。

鳥が花や枝をくわえて飛ぶ姿を表した昨鳥文に関するお話と俳句を通して、鳥と文化の結びつきを学びたいと思います。

日 時 1月24日(火) 9:30~12:00

場 所 我孫子市民プラザ あびこショッピングプラザ3F)会議室1

Tel: 04-7183-2111(我孫子駅北口
徒歩5分)

テーマ 1. 昨鳥文 木村
2. NHK俳句「渡り鳥」のビデオ

- 約 25 分 松田
 3. 俳句談義 古出
 (参加者は「鳥に関する俳句」
 を作って、22 日までに送信し
 てください。)
 句(何句でも可)及び作者名
 俳句送付先 古出
 Tel/Fax: 0476-42-3188
 4. アオバトのビデオ(松田制作)
 約 10 分

会 費 一人 300 円(茶菓代ほか)

締切日 1 月 19 日(木)

申 込 松田まで

Tel/Fax: 04-7182-8307

担 当 古出洋子、松田幸保、木村稔

手賀沼 船上冬鳥観察会

~句の手賀沼の野鳥を船上から観察して楽
 しみませんか~

冬の手賀沼は野鳥観察のベストシーズン
 です。冬鳥が手賀沼にたくさん集まります。
 船上からのバードウォッチングは陸からの
 探鳥と違い身近に水鳥などを鑑賞出来ます。
 杭に止まっているミサゴ、コブハクチョウの
 飛翔姿を間近に見られるのは船上観察会な
 らではです。暖かい身支度でおいで下さい。
 出来れば双眼鏡を持参下さい。

我孫子市環境レンジャーと我孫子野鳥を

守る会の共催です。

日時: 1 月 29 日(日) 午前 10 時~11 時頃
 (荒天中止) 集合午前 9 時 45 分

場所: 手賀沼(手賀沼公園ボートの小池前集
 合)

問合せ & 申込先: 我孫子市手賀沼課

04-7185-1111 (内線 468)

申込み受け付けは 1 月 16 日午前受付開始、
 その前の受付はできないのでご注意下さい。
 参加費無料、小学生以下は保護者同伴

1 月役員会案内

日 時 1 月 8 日(日) 13:00 ~ 16:00
 (開始時間に注意!)

場 所 北近隣センター並木本館
 第 3 会議室

議 題 平成 28 年度の反省と平成 29
 年度に向けて
 会報 255 号掲載予定記事につ
 いて
 第 3 四半期会計報告について
 第 23 回「野鳥サロン」につ
 いて
 報告事項
 ・対外対応状況 他
 その他(議題のある場合は桑森
 までご連絡ください)

お 知 ら せ

講 演 会

日 時 2 月 22 日(水) 開場 13:30
 講演 14:00 ~ 16:00 (質疑を含む)
 場 所 我孫子北近隣センター並木本館
 多目的ホール
 講 師 斉藤安行さん(我孫子市鳥の博物館
 館長)
 テーマ 手賀沼の鳥 - ここ 25 年で増えた鳥、
 減った鳥 -

内 容 (講師からの紹介)
 鳥の博物館では、建設準備の段階か
 ら手賀沼の水面の水鳥のセンサス
 を実施し、現在まで約 25 年間継続
 調査をしています。この結果から、
 個体数が増えた鳥、減った鳥を取り
 上げ、その原因について、鳥の生態
 や環境の変化という観点から考え

てみたいと思います。

申込み 不要
参加費 無料
共催 我孫子野鳥を守る会、我孫子市鳥の博物館友の会

「写真集 2016」応募写真募集

今年も「我孫子野鳥を守る会写真集」の応募写真を募集します。この写真集は 2007 年

に始まり今年で 10 回目になります。
この写真集は会員の撮影した写真を CD-R や DVD 等のメモリーに集約・記録して、会の活動に役立てることを目的にしています。
今年度も相良・北崎が担当いたします。
応募写真の条件、ファイル名、応募方法など募集要項は、概ね昨年と変わっていませんが念のため昨 12/4 付、ab-yacho(No . 01993・相良)の募集要項をご覧の上、奮って応募してください。初応募の方、大歓迎です。

行事報告

10月手賀沼探鳥会

日時 2016.10.9 9:00~
雨 18

朝方から降り出した雨が集合時間ごろには本降りとなり中止になりました。
当日は 11 名の方が集合されましたが予報では天気回復は午後になるとのことでしたので、すぐに解散となりました。

(担当) 小林寿美子、村井みとい

10月手賀沼定点カウント

調査日時 2016.10.4 9:00~ 12:15
晴れ 風がさわやか 29

前日は降雨の為中断、本日は仕切り直し。晴天で暑さを感じる程だが、対岸までクリアーに見え状況は良い。夏鳥はあらかた去った様子で、名残のツバメ、アマサギやチュウサギは僅か。一方冬鳥はカモ類ではコガモの去年より早い飛来があり、ミサゴ、カケスやアリスイなども認めた。
総数では前月の倍となり、コガモが大幅に増えた分、前年より 80 羽ほど多くカウントできた。

調査種	上沼	下沼	合計
コガモ	8	15	23

カガモ	92	15	107
コガモ	98	26	124
カイツブリ	4	7	11
カワ	41	41	82
コイサギ	1	0	1
アマサギ	0	2	2
アサギ	11	4	15
ダイサギ	9	18	27
チュウサギ	0	18	18
コサギ	4	13	17
バン	0	1	1
オハシ	4	5	9
合計	272	165	437

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸 計 3 名

10月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2016.10.6 9:30~ 11:00
晴れ 強い風 26~ 28

台風後の晴天、風強く遠く富士山、筑波山が見える。沼は波立ちいつも多いカワウが少なく、殆ど水鳥が見られない。斜面林より渡りで集まったヒヨドリの声が聞こえる。ピオトープの池にはカルガモ、コガモ、コサギ、ダイサギが見られ、キジバト、シジュウカラ、

ハクセキレイ、ヒヨドリ、セッカ、ハシボソガラス、ムクドリ、ホオジロが飛ぶ。田ではチュウサギが餌探し。観察した野鳥 17 種 101 羽。他に蝶 9 種、蛾 2 種、蜻蛉 3 種、バッタ 2 種、甲虫 1 種、蜘蛛 1 種、蛙 2 種、マイマイ 1 種、木の花 2 種、木の実 6 種、野草の花 8 種、野草の花穂、種子 12 種も観察出来ました。

< 認めた鳥 > カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、ホオジロ 計 17 種
 < 調査者 > 鈴木静治、間野吉幸、船津登、池田日出夫、百瀬喬 計 5 名

スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 49 種

< 参加者 > 野口隆也、坂元貴子、桑森亮、弘實和昭、弘實さと子、間野吉幸、村瀬和則、肥後邦彦、常盤孝義、佐和橋みどり、森本直久、北崎正典、木村稔、船津登、西嶋昭生、武藤康之、石渡成紀、西城猛、野倉元雄、金子幸子、類地佑子、宮下三禮、相良直己、田丸喜昭、田丸メリールイス、佐藤弘美、野口紀子、二國豊広、玉井修一郎、松村洋子、岩田孝之、岩田マキエ、松田幸保、小玉文夫、徳重玲子 (担当) 小澤淳宏 計 36 名

11月手賀沼定点カウント

11月手賀沼探鳥会

日時 2016.11.13 9:00 ~ 12:00
 晴れ 無風 19

探鳥には絶好の気候に恵まれ 36 名の参加者が集まりました。このうち 2 名の方は先週の JBF で当会の活動を知り参加してくれました。スタート前の情報で、サンカノゴイ、ミコアイサ、ハシビロガモ、ベニマシコなどが昨日手賀沼で見られたとのことで期待に胸が膨らみましたが、本日の探鳥会では見ることが出来ませんでした。

その代わりヨシガモ、ホシハジロ、ヒドリガモ、スズガモなど多くのカモ類が見られるとともに、ミサゴ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ハヤブサなどの猛禽も現れ冬の到来を感じる探鳥会になりました。

< 認められた鳥 > コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ホイグリンカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、

調査日時 2016.11.7 9:00 ~ 12:30
 晴れ 北風やや強く寒い 14

北風の冷たい中、上沼でスズガモの小群が見られたが上沼での記録は少ないのでは？ 珍しくオオタカが沼辺で休んでいる姿が見られ驚いたが、船上バードウォッチングをしていると見られることもままあるとか。オカヨシガモ、ヒドリガモがかなり見られ総数で昨年より 140 羽以上多くカウントできたが、期待のハシビロガモは確認できなかった。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	5	12	17
オカヨシガモ	44	5	49
ヒドリガモ	0	67	67
マガモ	0	6	6
カルガモ	83	6	89
オナガガモ	2	0	2
コガモ	225	9	234
キンクロハジロ	0	1	1
スズガモ	12	18	30
カイツブリ	7	5	12
カンムリカイツブリ	52	34	86
ハジロカイツブリ	0	21	21
カワウ	40	74	114
アオサギ	14	7	21
ダイサギ	4	7	11
コサギ	8	10	18

バン	0	1	1
オオバン	16	16	32
ユリカモメ	4	1	5
セグロカモメ	1	2	3
合計	517	302	819

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸 計3名

11月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2016.11.3 9:30~11:30

晴 中程度の風 16~19

雨上がりの晴天で、暖くなり鳥、昆虫が飛ぶ。沼の沖では調査対象外ですが、ハジロカイツブリの群れとカンムリカイツブリが泳ぎ、チュウヒが上空を飛ぶ。沼岸近くではカイツブリ、オオバンが動き、ユリカモメ、セグロカモメ、カワウが飛ぶ。二番穂の水田では、ハシボソガラス、ハクセキレイを追うモズが見える程度で鳥は少ない。ピオトープはヨシ、ヒメガマ、マコモ等の抽水植物とクズ、カナムグラ、イシミカワ等の蔓性植物に覆われる。池にコガモ、カルガモ、オオバン、バンが泳ぎ、アオサギが大きな魚を掴まえ飲み込む。カワセミが水面上を飛ぶ。木の頂上でホオジロ、モズが囀り、草の茂みでキジが鳴く。スズメ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、カワラヒワが飛び、上空を渡りのタゲリの群れ、トビが飛ぶ。観察した鳥は22種78羽。他に蝶8種、蜻蛉2種、バッタ1種、蜂1種、蠅4種、甲虫1種、蜘蛛1種、蛙1種、小動物1種、木の花1種、木の実4種、野草の花4種、園芸種の花1種、野草の花穂、種子6種も観察出来ました。

<認めた鳥> キジ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、タゲリ、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計22種

<調査者> 鈴木静治、間野吉幸、池田日出男、船津登、金子雅幸 計5名

日光あちこち探鳥会

11月20日、21日

日光あちこち探鳥会感想文

小池勉

我孫子を予定通り出発し、濃い霧に包まれた高速道路を經由して一路奥日光へ向かいました。途中、日光に近づくにつれ霧も徐々に晴れ、紺碧の空と燃ゆる紅葉が私たち一行を迎えてくれました。いろは坂を登るにつれ紅葉も終わりを告げ、落葉樹林は既に葉を落として探鳥に最適な姿に変身していました。最初の探鳥地である奥日光の菖蒲ヶ浜では、興味を引く水鳥には出会えませんでした。湖畔の林で久しぶりにゴジュウカラを撮影することができ、まあまあスタートです。三本松茶屋で昼食をとり、戦場ヶ原の南側の入口付近に位置する赤沼に向かいました。赤沼から戦場ヶ原の西側を南北に流れる湯川の川沿いの木道を1時間ほど歩き探鳥しましたが、マガモの番い数組と一羽のカラスを確認しただけでした。湿原に生える葦やシラカバ、カラマツ、ミズナラなどの森林を飛び交うアオゲラやアカゲラなどに出会うことを楽しみにしていたのですが、期待は大きく外れ、予定を少し早めて次の当日最後の探鳥地である湯滝周辺では、オオアカゲラやゴジュウカラなどを撮影することができました。

私の趣味は、自ら撮影した野鳥写真のコレクションです。そして、撮影した写真をテレビで鑑賞しながら一杯飲むことです。したがって、探鳥会に参加する目的は、これまでに撮影していない野鳥の写真の撮ること又は既に撮影した野鳥でもより美しい写真を撮りアップデートすることです。オオアカゲラとアカゲラでは、写真としてそれほど大差はありませんが、コレクションが一つ増えたことで一定の成果を得ることができました。

翌日は曇り空で、写真撮影にはあまり適していない天候です。朝食前にホテル周辺で探鳥し、アカゲラ、カワガラス、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、キンクロハジロなど多くの種類を観察できました。ホテルに帰って朝食をとった後、二日目の探鳥地である日光小倉山森林公園に向かいました。ここでは、木の天辺にしがみついているアオゲラを誰かが

発見、もう少し太陽光があり、距離が短ければ最高なのにと欲張ったことを考えながらシャッターを切りました。同じ目標に向けられたカメラのシャッター音が一斉に鳴り響きました。森林公園ではアオゲラの他に、カケス、ヤマガラ、ヒガラなどを観察することができました。ツアー最後の探鳥地である日光だいや川公園では、今回の探鳥会の思い出になるように多くの小鳥が協力してくれました。河川敷の土手を歩くとエナガ、メジロ、シジュウカラなど小鳥の群れが我々と並行して飛んでくれ最後まで名残惜しむ我々を楽しませてくれました。しかし、この日は多くの野鳥と出会ったにもかかわらず、既に私のコレクションにあるものばかりで、また天候のせいもあり成果はなかったのです。2日目の成果が得られないまま、土手沿いの探鳥も終わりに差し掛かったところで悲劇が起きました。そこは、2つの小道に分かれていました。一方は、土手から河川に向かう小道で、他方は芦原に向かう小道です。先頭にいた私は最後尾の人達が到着するまで少し時間があると思い、もう少し先まで行くことにしました。私は何となくベニマシコに出会えるような気がして芦原の方に向かいました。少し後から来た人達は、河川の方に向かっていました。河川に向かった人達は、なんとカワアイサを撮影することができたのです。カワアイサの写真は、まだ私のコレクションにはありません。私の方は期待が外れ、ホオジロしか撮影できませんでした。このショックは大きく、来年の舳倉島まで癒されることはないでしょう。

今回の探鳥会は、私にとって鳥より人との出会いに興味深いものを感じました。一行は、和気あいあいと昨晚の宴で残ったお酒を堪能しながら帰路につきました。

【幹事報告】

今回の探鳥会は奥日光と日光市周辺の探鳥地を巡る初めての試みでしたが、初日は好天、2日目は曇りで、二日間ともこの時期としては暖かくコンディションは概ね良好で、日光周辺では紅葉も楽しめました。鳥の具合は、今年はズミの実のつきが悪く、木の実が少ないためか、奥日光定番の赤沼付近でも鳥はまばらでした。それでも何とか認めた鳥は50種を数えることができました。

奥日光では、菖蒲が浜でカワガラスを間近に撮影でき、赤沼・三本松でカラ類、湯滝でオオアカゲラ、湯ノ湖でアメリカヒドリなどが観察できました。目玉のアオシギは大分探しましたが、NGでした。日光市周辺では、小倉山森林公園でアオゲラなど、だいや川公園でカラ類、カワアイサなどが観察できました。ただし、全員が観察できた訳ではなく、一部の人が見た鳥も多かったので、全員が纏まって観察できるかは今後の宿題で反省点です。だいや川公園は初めて行ってみましたが、大谷(だいや)川の土手を歩く河川敷周辺のコースは鳥が多く、探鳥先としては良好でした。<認めた鳥>キジ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カワアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、トビ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、オオアカゲラ、アカゲラ、アオゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、クイタダキ、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ゴジュウカラ、カワガラス、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、マヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ計50種

<参加者> 神部充、中西榮子、鈴木裕爾、古賀嗣朗、古賀道子、小林秀美、小山雄司、浅野利幸、小池勉、大久保陸夫、船津登、松本勝英、津村勝吉、仲澤成二、小玉文夫、中根忠、多葉田五男、野口隆也、野口洋子(幹事) 弘實和昭、桑森亮 計21名

行徳・江戸川探鳥会

11月23日

行徳・江戸川探鳥会感想文

小林博之

朝方雨が降り今日は中止になるのではと思いましたが、幹事さんの行いが良く、雨が上がり決行することになりました。

我孫子駅より千代田線で新松戸まで行き武蔵野線で西船橋まで、乗り換えて東西線で行徳駅下車、バスで江戸川(放水路)河口に行き

ました。土手は風がりましたが、カモ類を見たら元気になり双眼鏡で素早く見ました。マガモ、オナガガモ、カルガモ、コガモ、ウミアイサ、スズガモ、カンムリカイツブリ、等、特にスズガモが沢山おりました。途中、行徳野鳥観察舎スタッフの方が待っていて案内して頂きバス停の近道まで送って頂きました。それからバスで行徳野鳥観察舎まで行き、NPOの珍しいお名前の野長瀬さんに案内して頂きました。行徳野鳥観察舎は昭和51年1月に開設し新浜で記録された野鳥は281種日本産鳥類の約半分だそうです。千葉県指定の「行徳野鳥獣保護区」と宮内庁所管の「新浜鴨場」を合わせた面積は83haです。

まず高いところにミサゴ、トビ、チョウゲンボウ、チュウヒなどの猛禽類が迎えてくれました。広い湿地環境として、水鳥が安心して生息できる場所だと思います。

カモ、サギ、カモメ、カイツブリなど沢山の鳥がいました。最後に鳥合わせして48種の鳥を観察し大変感激しました。

【幹事報告】

昨年末から行徳自然保護区にある行徳野鳥観察舎の再開と存続を求める運動が話題を呼んでいます。当会でも、趣旨に賛同し、再開と存続を求める署名に多くの会員が参加いたしました。あまりに身近な存在であるが故に、過去10年間では当会主催の探鳥会は行徳自然保護区で実施されませんでした。近場の新たな探鳥会場を求めて、今回、行徳・江戸川探鳥会を企画し実施しました。

地下鉄東西線行徳駅を朝9時に出発し、バスで先ず江戸川河口に向かい、江戸川の東京寄り堤防を行徳橋から河口まで探鳥し、昼食後は行徳自然保護区を探鳥しました。

江戸川堤防では、ウミアイサを間近で観察でき、スズガモの大きな群れ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリなどをじっくり観察できました。

行徳自然保護区は、日頃は立入制限がされ、入れませんが、今回、千葉県に保護区立入申請をし、許可を得ました。指定管理人である行徳野鳥観察舎スタッフ野長瀬様のご案内で保護区内の探鳥を行いました。水鳥だけでなく、チョウゲンボウやオオタカなどの猛禽が出迎えてくれ、保護区内で

は各所に猛禽類の食痕(水鳥の羽)が残っていたり、タヌキの溜め糞が随所にあたり、都会の中の自然を感じることができました。また、この環境を維持するためのスタッフの大変な努力の一端のお話をお聴きしました。

最後に、野鳥観察舎に付設されている野鳥病院を見学し、自然保護区入口近くで鳥合わせをして解散しました。江戸川堤防探鳥をご案内の上、バス停まで誘導頂いた鈴木様、行徳自然保護区内をご案内頂いた野長瀬様、ご協力頂いた行徳野鳥観察舎スタッフの皆様へ感謝申し上げます。

<認めた鳥> ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ウミアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、オオタカ、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計47種 番外：カワラバト
<参加者> 浅野利幸、大久保陸夫、北崎正典、桑森亮、古出洋子、小林博之、小林美智子、弘實和昭、間野吉幸、村松寿夫、吉田隆行(幹事)相良直己、鈴木静治 計13名

第16回ジャパンバードフェスティバル (JBF2016)

<総括報告>

第16回ジャパンバードフェスティバル(JBF2016)が11月5日(土)、6日(日)の両日にわたり手賀沼親水広場とアビスタを中心に開催されました。当会の出展は、昨年に引き続き、鳥博広場のテント(ブース ~) 噴水前デッキ(湖畔BW) 手賀沼漁協棧橋入口テント(船上BW)の3か所で各種活動を展開しました。

今年は2日間とも好天に恵まれ、「水の館」

が改修工事中で使用できませんでしたが、例年と変わらず多くの出展ブースと来場者で会場全体が賑わいました。

当会の出展状況は、ブースでは「当会が出会った美しい鳥たち」をテーマに、当会の活動と探鳥会等での写真をパネル等で展示、ブースの「塗り絵とパタパタ工作」では親子等による体験の補助・指導、ブースの「庭に鳥を呼ぶ」では鳥の好む餌や紙パックを利用したフィーダー、餌を啄む鳥の写真等の展示を行いました。

湖畔BWでは、スコープを多数台設置し、来場者に遠くの鳥が間近に見られるバードウォッチングの驚きと楽しさを味わってもらいました。船上BWでは、遊覧船で手賀沼を一周し、船上から水鳥の飛び立ちや杭上の鳥を間近に見て楽しんでもらいました。

何れの出展ブース、テントともに大盛況で、昨年以上の来場者で賑わい、多くの方々に当会の活動やバードウォッチングの楽しさを知ってもらい、人と野鳥の共存について関心を深めてもらいました。その結果の一つとして、これ機会に5名の方が新規入会され、当会のバッジ販売でも10個が売れました。

また、今年も海外6か国からの出展があり、当会としては昨年に引き続き台湾とモンゴルをサポートするとともに交流を深め、何れのブースも盛況でした。

2日間を通して、当会への来場者総数は3,305名(昨年は3,006名)で、会員参加者は前日準備も含め延べ109名の皆さんのご協力をいただきました。担当幹事の皆さん、支援スタッフ会員の皆さんの総力が結集され、無事成功裏に終えることができました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。

なお、各ブースの詳細については、各グループリーダーから別途報告されます。

(事務局 桑森)

<当会が出会った美しい鳥たち>

今年度の鳥博広場当会ブースでは、この数年実施していたスライドショーを止め、ブース内レイアウトを大きく変更し、通路を広くすることによって、来場者に当会会員撮影の写真の数々をじっくり楽しんでいただくこととしました。また、ブース前を通行している方に興味を持っていただけるよう、遠目か

らも分るようブースの正面や側面に魅力的な写真を掲示しました。この結果、多くの来場者をブース内に招き入れることができ、具体的な写真の説明を行なえたことと共に、当会活動、探鳥の素晴らしさ、当会の国際交流に関し、ご案内できました。

定例探鳥会にご興味を持たれた来場者も少なからずおられ、今後の会員増の期待が高まりました。

今年度の写真展示のメインテーマは「魅惑のフォトブース～美しき鳥たちの世界～」です。掲示した写真は以下となります。

A1パネル展示 8パネル

当会のご紹介・活動、手賀沼の春(生命の輝き、親子の固い絆 写真各4枚)、当会の国際交流(台湾・モンゴル探鳥旅行で出会った鳥 写真各4枚)

A3写真展示 14枚

台湾・モンゴル探鳥旅行で出会った鳥 写真6枚

手賀沼で見られる鳥 写真3枚

遠出探鳥会で出会った鳥 写真5枚

掲示写真は、担当幹事の投票で選定しました。

(担当 相良)

<パタパタ工作&野鳥塗り絵>

例年通り「パタパタ工作」6種、「野鳥塗り絵」14種を実施しました。

機の配置を変え、また、トレイ等を活用して机上を整理したため、作業がしやすくなりました。

今年はなぜかパタパタ工作に人気が集出し、参加者は前年比111.4%の304名、特に「ミサゴ」は用意した台紙77枚が完売でした。親子連れだけではなく、年配の方、若い方の参加も目立ったように思います。

お手伝いくださった13名の方々、有難うございました。

(担当 野口(紀))

<庭に鳥を呼ぶ>

庭に鳥を呼ぶため、餌台を作る方法、実のなる木を庭に植える方法、また山野の草の種子、木の実を紹介した。餌台は牛乳紙パックを利用したフィーダーにミカン、シイの実を置く方法と針金に殻付きピーナッツを串刺しにし吊る方法を、庭の木の実の色鮮やかで、

食べやすい大きさのコムラサキ、センリョウ、ナンテン、ピラカンサ等を、山野の木の実は色鮮やかで綺麗なガマズミ、クサギ、ゴンズイ等、山野の草の種子は蒲の穂、ノブドウ、カラスウリ、スズメウリ等を生花方式と吊り下げ方式で展示しました。コストの掛からなく可愛い牛乳紙パックの餌台、串刺し殻付きピーナッツは作ってみようという人も多く好評でした。小さく莫大な数の種子の蒲の穂、ユニークな形のカラスウリ、アオツヅラフジの種子を説明すると、草の種子、花、繁殖法に興味を持たれました。

来年は上記の展示の他に縁起の良い木(一両～万両、一位、打出の小槌のカラスウリ等)を展示し、出来ればコムラサキ、千両の苗木を希望者に配布したいと思っています。

(担当 鈴木)

<船上バードウォッチング>

両日とも受付前から行列が出来る程、6便すべて満席で相変わらずの大人気でした。望遠レンズを持ったバーダーから、幼児連れの若いご夫婦まで多様な乗船者模様でした。

ミサゴ、トビが全便で認められ、乗客は歓喜一杯、ハジロカイツブリの小群には、興奮気味にカメラに収めていました。

晴天が仇となり午後の便では西日が強く、風も出て、カモ類が風除けのため植生帯の陰に隠れてしまい、種数は20～29種とまあまあでしたが、鳥数は例年より少なかった。

船長の許容一杯まで受け付けましたが、約100名の方にはお断りしたのが残念です。乗客者は、我孫子市内49名、県内他市70名、東京都が44名、神奈川県25名、茨城県20名、埼玉県12名と続き、栃木・静岡・群馬からも数名、最遠地は奈良県橿原市からの参加を頂き、6便合計で231名でした。

(担当 松本)

<湖畔バードウォッチング>

11月5日(土)の天気は、曇のち晴で朝方雨がぱらつきました。

来場者は、928人で昨年より多く盛況でした。認められた鳥は、上沼の杭にミサゴ、葦原の上を飛ぶチュウヒ、上空を飛ぶトビと猛禽類3種を含め25種でした。

来場者の多くの方は、フィールドスコープで

鳥が、鮮明に見えることに感嘆の声をあげていました。毎年見られるオナガガモが、今年は見られず残念でした。

11月6日(日)の天気は、晴でしたが、午後は、カップ像に鳥がいなく、また湖面にもオオバンのみで、スコープを覗く人も少なく、来場者は、719人と昨年を下まわりました。認められた鳥は、遠くの95号送電用鉄塔に止まるハヤブサのシルエット、湖面の上を飛ぶミサゴ、チュウヒと猛禽類4種など24種でした。全体的に鳥が少なく、特にカモ類が少ないことが目立ちました。

2日間合計で、来場者は1,647人、認められた鳥は28種でした。

会員の案内者は、延べで27名でした。

(担当 船津)

第21回「野鳥サロン」の実施報告

第21回野鳥サロンが11月30日(水)、並木本館第3会議室で行われました。

初めは、6月に会の有志が行った「モンゴル探鳥旅行」を野口(隆)さんが、同行者からの写真も集め、日本では“冬鳥”のカモ類の繁殖、アネハヅルの親子連れ、大型・精悍な猛禽類、独特な羽色の希少種などなどの写真が映し出され、ユーモアたっぷりのコメントで参加者は目を奪われました。特にゴビ砂漠の紹介や遙かな地平線と広大な大地と空、そこに生きる遊牧民とその家畜たちの映像は、臨場感溢れるものでした。

続いて、船津さんから、自分の探鳥フィールドとして“手賀の丘公園”を主に紹介し、手賀沼周辺が身近な探鳥地であることを、ポイントごとに鳥種、季節、時間などのデータの説明がありました。過去3年間の観察記録は、正に「継続は力なり」を物語っておりました。

最後に、松本から、会報の“鳥だより”への投稿を呼掛ける資料として、約10年前からの掲載選考基準が紹介され、それに関連する環境省の定める絶滅危惧種と千葉県のカテゴリーの状況をクイズ形式で学びました。<参加者> 間野吉幸、畠中暁美、関口小夜子、小玉文夫、金子幸子、野口紀子、野倉元雄、古出洋子、桑森亮、大久保陸夫、小林千恵子、

松村洋子、小池勉、青木典子、千葉洋、川上千里（担当）野口隆也、船津登、松本勝英
計 19 名

手賀沼親子ふれあい探鳥会実施報告

（手賀沼流域フォーラム）

日 時 12月3日(土) 9:30～12:30
行 程 手賀の丘公園～手賀沼(下沼)～手賀の丘公園

内 容 手賀沼流域フォーラム地域企画の一環として、一般市民を対象にして当会会員が野山と水辺の鳥を案内し、家族に探鳥の楽しみを伝える親子ふれあい探鳥会を実施しました。

当日は風もなく好天に恵まれた絶好の探鳥日和で、野鳥も48種が観察されました。今回も昨年と同コースを選択、じゃぶじゃぶ池ではアトリ、ヤマガラ等を観察し、桜の森付近ではルリビタキが出現しました。手賀沼に向かう途中の田圃ではタヒバリ、ツグミに加えチョウゲンボウ等をじっくり観察。手賀沼ではヒドリガモ、ヨシガモ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ等の水鳥が観察できました。特にミサゴ2羽が近くの上空を旋回し、参加者の皆さんが大変感動していました。

鳥合わせの後、野鳥ビンゴの結果に応じた当会特製の「野鳥カード」や「塗り絵セット」のプレゼントがあり、子供たちは大喜びでした。

今年も昨年同様に市民の皆さんが多数参加して大盛況でした。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、

カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、アトリ、カワラヒワ、ウソ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計48種 番外 カワラバト
<参加者>46名。うち一般33名、会員13名：松村洋子、弘實さと子、間野吉幸、徳重玲子、北崎正典、古出洋子、桑森亮、相良直己、船津登、千葉洋、野倉元雄、肥後邦彦、野口隆也

統一クリーンデイ・ふれあい清掃

「一人ひとりの力でもっときれいな手賀沼に」をスローガンとした手賀沼統一クリーンデイ・ふれあい清掃が12月4日(日)に実施され、当会から12名の有志が参加しました。星野市長の挨拶の後、清掃が始まりました。今年は根戸新田ガードレール下沼側湿地と遊歩道沿いの清掃となりました。毎年実施している効果でゴミは少なくなりましたが、心無い人が捨てたテレビ、電気釜、建設資材(塗料)入りの一斗缶7缶など大型ごみも回収されました。1時間弱で作業を終え、トートバッグを頂き、恒例の「じゃんけんゲーム」で勝ち残った人に景品が渡され、最後に市職員組合提供の豚汁を頂き散会しました。

暖かく、無風の好天で気持ちよく清掃できました。清掃終了後ポート乗り場でクロハラアジサシが見られるおまけ付きでした。

<参加者>野口隆也、鈴木祐爾、鈴木幸子、間野吉幸、石渡成紀、野倉元雄、千葉洋、森本宜久、桑森亮、松村洋子、小林博之
(担当)小澤淳宏 計12名

11月役員会報告

日 時 平成28年11月13日(日) 13:00～17:00

場 所 根戸近隣センター並木本館 大会議室

出席者数 19名

議 事

1. 2017年度上期行事計画

2017年度上期行事について検討し、次の通り決定しました。

月	実施日(曜日)	行事内容	担当
4	01(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	06(木)	ピオトープ調査	鈴木他
	09(日)	手賀沼探鳥会 定期総会、事務局会議	探鳥会：小林(寿)、村井 事務局
	23(日)	葛西臨海公園探鳥会	相良、千葉
	30(日)	筑波山・雨引山探鳥会	桑森、小澤
5	04(木)	ピオトープ調査	鈴木他
	06(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	14(日)	Enjoy 手賀沼探鳥会 役員会	野口(隆)、桑森 事務局
	20(土)～21(日)	富士山北麓探鳥会	野口、間野
		第24回野鳥サロン	弘貴、相良、村井
6	01(木)	ピオトープ調査	鈴木他
	02(金)～04(日)	三宅島探鳥会	鈴木、松田
	05(月)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	11(日)	手賀沼探鳥会 事務局会議	探鳥会：小澤 事務局
	12(月)～16(金)	道東探鳥会	松本、田中、金子
	24(土)	新入会員オリエンテーション	相良、船津、野口(紀)
7	01(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	06(木)	ピオトープ調査	鈴木他
	09(日)	手賀沼探鳥会 役員会	探鳥会：船津 事務局
	23(日)	Am 映写会	映写会：相良、石渡
		Pm 懇親会	懇親会：古出、野口(紀)、石井、小林(美)
	第25回野鳥サロン	石井、石渡、桑森	
8	03(木)	ピオトープ調査	鈴木他
	05(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	06(日)	ホテルの夕べ	木村、桑森
	13(日)	手賀沼探鳥会 事務局会議	探鳥会：桑森 事務局
9	02(土)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	03(日)	三番瀬探鳥会	野口(隆)、相良
	07(木)	ピオトープ調査	鈴木他
	10(日)	手賀沼探鳥会 役員会	探鳥会：松田 事務局
	23(土)～24(日)	あびこ市民活動メッセ	間野、相良他
	30(土)	近場探鳥会	千葉、船津
		第26回野鳥サロン	北崎、小林(寿)、西城

2. ほーほーどり 254号掲載予定記事

会報 254号の掲載記事について検討し、執筆担当等を決定しました。

3. 芋煮会と手賀沼遊歩道探鳥会

芋煮会と手賀沼遊歩道探鳥会の担当等について検討し、決定しました。

4. 第2四半期会計報告

間野（会計担当の代行）が報告し、異議なく了承されました。

5. 第 22 回野鳥サロンについて

1/24(火)、9 時 30 分から我孫子市民プラザ（エスパ）で開催されます。詳細は行事案内をご覧ください。

6. 報告事項

以下の事項が報告されました。

あびこ市民活動メッセの出展状況

具体的内容は会報 253 号で既に報告されています。

JBF2016 出展等の状況

具体的内容は別途 JBF 報告に記載の通りです。

宿泊探鳥会でのキャンセル料の取扱いについて

事務局作成の素案を検討し、継続審議になりました。

対外対応状況等

事務局報告事項

12/22(木)の長寿大学への探鳥指導の担当を確認しました。

7. その他

我孫子市鳥の博物館の齋藤館長を講師とする講演会を「鳥の博物館友の会」と共催で開催することについて間野から提案があり、了解されました。今後、開催時期、具体的な内容等を齋藤館長に相談、調整し、詳細が決定次第、周知されます。

2016 年度活動の記録 DVD 及び写真集作成計画について提案があり、了承されました。

以上

鳥 だ よ り

いよいよ冬の鳥たちがやってくる季節になりました。10 月 11 日にキンクロハジロが、21 日にジョウビタキ、25 日にシメ、26 日にクロジそして 27 日にはミヤマガラスが初認されています。11 月に入ると、2 日にアカハラとカシラダカが、10 日ツグミ、14 日オオジュリン、17 日ベニマシコを見ることができました。コサメビタキやサンコウチョウなどの珍しい鳥も現れています。

カモたちも多く見られるようになっています。めっきり少なくなったハシビロガモ、ミコアイサやヨシガモなども報告され、わが国では大変珍しいアネハヅルを観察したという報告も来ています。

寒い季節の中ですが皆さん熱心に探鳥され、1,215 件もの投稿を頂きました。12 月からも冬鳥の季節です。シベリアから渡って来る鳥や山から下りてきた鳥たちで、しばし賑やかな状態が続きます。鳥だよりも豊富になります。多くの鳥たちとの出会いを期待しましょう。

9.22 [東中新宿] サバ (1)

雨がふる中、北北西方向から東方向に飛翔し通過
飯泉仁

9.22 [浅間前] フウゲンボウ (1)

電柱より飛び立つ
鈴木静治

9.23 [泉村新田] 材木 (1)

電柱に止まる
船津登

9.23 [片山 (手賀の丘公園)] イビサ (3)

木及び電線に止まる
船津登

9.23 [鷲野谷新田] フウゲンボウ (1)

- 電線に止まる 船津登
 9.24 [戸張新田] ハブ`サ(1)
 鉄塔 96 上部に止まっていた。 吉田隆行
 9.25 [光ヶ丘廣池学園] ヤマガ`ラ(2)
 記念講堂周辺を鳴きながら移動 飯泉仁
 9.25 [大青田] サハ` (2)
 上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
 9.25 [柏の葉公園] サコカ`ヨウ(1)
 桜の広場隣接の林を移動。
 時折鳴き声あり 飯泉仁・飯泉久美子
 9.25 [柏の葉公園] コサ` 舩(1)
 木の枝に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
 9.25 [布施(あけぼの山公園)] ヒ` (1)
 上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
 9.26 [片山新田] ミガ` (1)
 上空に出現 飯泉仁・飯泉久美子
 9.26 [片山新田] ノリ(1)
 上空に出現 飯泉仁・飯泉久美子
 9.26 [大井新田地先上沼] ミガ` (1)
 杭に止まって休息か 吉田隆行
 9.27 [片山(手賀の丘公園)] ヒ` (2)
 上空を飛ぶ 船津登
 9.27 [片山(手賀の丘公園)] アカ`ラ(1)
 松の木に止まり鳴く 船津登
 9.27 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(3)
 船津登
 9.28 [片山新田] ヒ` (2)
 電柱に止まり休む 鈴木静治
 9.29 [高野山新田(遊歩道)] セイカ`ギ` (2)
 植生域で休む 船津登
 9.29 [高野山新田(遊歩道)] ヨウ`ノ`ウ(1)
 木の頂きに止まる 船津登
 9.29 [ヒドリ橋] ハブ`サ(1)
 湾処で採餌、失敗 吉田隆行
 9.30 [千間橋] ヒ` (1)
 鉄塔の中段に止まる 鈴木静治
 9.30 [千間橋] ミガ` (1)
 鉄塔の中段から飛び立つ 鈴木静治
 9.30 [布瀬] ハブ`サ(1)
 低空を飛び立つ 鈴木静治
 9.30 [布瀬] ヨウ`ノ`ウ(1) 掴まえた加刈を
 電線上で食べる 鈴木静治
 9.30 [布瀬] ヒ` (2)
 田の上を飛ぶ 鈴木静治
 9.30 [片山(手賀の丘公園)] ヒ` 舩(2)
 杉の木で動く 船津登
 9.30 [手賀の丘公園] イ`ビ` 舩
 桜の木で採餌 吉田隆行
 10.01 [布佐平和台] ヤマガ`ラ(1)
 電線から蜘蛛の巣の蜘蛛をヒ`リ`グ`して
 捉まえる 鈴木静治
 10.01 [布佐平和台] ヒ` (1)
 住宅の上空を高く旋回する 鈴木静治
 10.02 [高野山新田地先] セイカ`ギ` (2)
 水生植生帯の浅瀬に 桑森亮
 10.02 [古戸] ヒ` (1)
 上空を飛ぶ 鈴木静治
 10.02 [江蔵地] ツド`リ(1)
 柳の大木に止まる 鈴木静治
 10.02 [布施(あけぼの山公園)] イ`ビ` 舩(3)
 木々で採餌、1羽は嘴にトンボを啜え採餌
 田中功
 10.02 [片山(手賀の丘公園)] ヒ` (1)
 上空を飛ぶ、後をかすが追う 船津登
 10.02 [片山(手賀の丘公園)] イ`ビ` 舩(4)
 桜の木で動く 船津登
 10.02 [片山(手賀の丘公園)] コサ` 舩(2)
 木の中で動く 船津登
 10.02 [戸張] ノ` (1)
 農道の杭や草に止まり採餌 吉田隆行
 10.03 [戸張] ヨウ`ノ`ウ(1)
 鉄塔で獲物を食べる
 桑森亮・船津登・金子雅幸
 10.03 [戸張] ハブ`サ(1)鉄塔に止まる
 桑森亮・船津登・金子雅幸
 10.03 [手賀沼遊歩道(大井新田地先)] ミガ`
 (1)杭上から飛び立ち
 桑森亮・船津登・金子雅幸
 10.04 [古戸] ヒ` (1)
 上空高く鳴きながら飛ぶ 鈴木静治
 10.04 [江蔵地] ツド`リ(2)
 葦原の柳の大木に止まる 鈴木静治
 10.04 [布佐] ノリ(1)
 斜面林上を飛ぶ 鈴木静治
 10.04 [手賀の丘公園] ヒ` 舩(1)
 木の茂みの中で鳴いていた 吉田隆行
 10.04 [大井新田] ツド`リ(1)
 桜の木で採餌し、遊歩道反対側の林で休
 息の様子 吉田隆行
 10.04 [手賀沼] ミガ` (1)上沼 1
 金子雅幸・桑森亮・船津登
 10.04 [手賀沼辺] ヨウ`ノ`ウ(1)上沼 1
 金子雅幸・桑森亮・船津登
 10.04 [手賀沼(下沼)南岸の田圃] ノ` 舩(1)

下沼南岸の田圃でセッカ、ノビタキ確認
百瀬喬

10.05 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田)]ヒ` (1)
上空を旋回飛翔 桑森亮

10.06 [岡発戸新田]ツト`リ(1)
沿岸の桜で芋虫を掴まえ啜える鈴木静治

10.06 [上沼田]ヒ` (1)
田の上空を飛ぶ 鈴木静治

10.06 [高野山]マカ`ラ(1)
声 平岡考

10.06 [岡発戸新田]ツト`リ(1)
湖岸の桜の芋虫を啜える 鈴木静治・
船津登・間野吉幸・池田日出夫・百瀬喬

10.07 [片山(手賀の丘公園)]ヒ` 舂(1)
小枝に止まる 船津登

10.08 [光ヶ丘廣池学園]ヒ` 舂(1)
モシ`の枝に飛来 飯泉仁

10.08 [光ヶ丘廣池学園]コサヒ` 舂(1)
楷の木に飛来 飯泉仁

10.08 [光ヶ丘廣池学園]マカ`ラ(1)
鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子

10.08 [光ヶ丘廣池学園]イヅ`ヒ` 舂(8)
楷の木に飛来 飯泉仁・飯泉久美子

10.09 [片山新田先手賀沼]カハラアジ` サ(1)
水面の上を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子

10.09 [戸張新田]ハヤ`サ(1)
鉄塔95から96へ移動 吉田隆行

10.10 [岡発戸谷津]ヒ` (1)
飛翔 桑森亮

10.10 [上沼田]チョウガ`ンホ`ウ(1)
風に乗って飛ぶ 桑森亮

10.10 [上沼田]ヒ` (4)
飛翔 桑森亮

10.10 [大井新田地先]カハラアジ` サ(1)
飛翔 平岡考

10.10 [大井新田地先]アライ(1)
鳴く 平岡考

10.11 [泉村新田(手賀沼側)]キナカハシ` 口(35)
湖面を群で泳ぐ 船津登

10.11 [江蔵地]ヒ` (1)
草刈りトラクター周辺を低空で飛ぶ 鈴木静治

10.12 [布佐平和台]ヒ` (4)
上空高く他のカとカ柱をつくる
鈴木静治

10.12 [染井入新田]ヒ` 舂(3)
セウカアワタ` フウ等に止まる 船津登

10.12 [手賀の丘公園]イヅ`ヒ` 舂(1)

桜の木で採餌 吉田隆行

10.13 [曙橋(手賀沼側)]カハラアジ` サ(2)
杭に止まる 船津登

10.15 [光ヶ丘廣池学園]ツト`リ(1)
木の枝に飛来 飯泉仁・飯泉久美子

10.15 [古戸]チョウガ`ンホ`ウ(1)
カハラトの群れ近くを飛ぶとカハラトが驚き
飛び立つ 鈴木静治

10.15 [古戸]ヒ` (1)
上空を鳴きながら飛ぶ 鈴木静治

10.15 [古戸]ウ`ラ(1)
叢の足元より草の上を低空で直線に飛ぶ
鈴木静治

10.15 [古戸]ヒ` 舂(1)
セウカアワタ` フウの花上に止まる 鈴木静治

10.15 [江蔵地]チョウガ`ンホ`ウ(1)
田の近くの電線に止まる 鈴木静治

10.15 [北新田]ヒ` (7)
飛翔 畠中暁美・桑森亮ほか10名

10.15 [北新田]オカカ(1)
飛翔 畠中暁美・桑森亮ほか10名

10.15 [北新田]ノリ(5)飛翔、水田
畠中暁美・桑森亮ほか10名

10.15 [北新田]チョウガ`ンホ`ウ(4)
金谷堰傍のフェンス、飛翔
畠中暁美・桑森亮ほか10名

10.16 [光ヶ丘廣池学園]ヒ` 舂(3)
成鳥雄1、若鳥2が楷の木に飛来
飯泉仁

10.16 [光ヶ丘廣池学園]ツト`リ(1)
北方向から南方向に飛翔 飯泉仁

10.16 [大井新田先手賀沼]ミサコ` (1)
水面の杭に止まる 飯泉仁・飯泉久美子

10.16 [片山新田先手賀沼]ヒ` 舂(1)
水田の草原に飛来 飯泉仁・飯泉久美子

10.16 [片山新田]チョウガ`ンホ`ウ(1)
電線に止まる 船津登

10.18 [手賀の丘公園]マカ`ラ(10)
水浴び、樹間、林床を移動 桑森亮

10.18 [曙橋地先]カハラアジ` サ(2)
杭上で休む 桑森亮

10.18 [泉村新田(手賀沼側)]ミサコ` (1)
杭の上で魚を食べる 船津登

10.18 [片山(手賀の丘公園)]ヒ` (1)
上空を飛ぶ 船津登

10.18 [布施(あけぼの山公園)]サヒ` 舂(2)
幼羽 百瀬喬

- 10.18 [弁天下] ヲウゲ`ホ`ウ(1) 船津登
杭上で休む 百瀬喬
- 10.19 [片山新田地先] クハアツ`サ(2) 桑森亮
沼上空を飛ぶ
- 10.19 [布施 (あけぼの山公園)] アトリ(10) 中西榮子
羽繕い、休息
- 10.19 [布施 (あけぼの山公園)] イカ(1) 中西榮子
声
- 10.20 [高野山] ヤマガ`ラ(1) 平岡考
声
- 10.20 [中峠] ヲウゲ`水路で、飛翔 松本勝英
- 10.21 [柏市弁天下地先利根川対岸の干潟 (利根川左岸)] アハツ`ル(1) 吉田隆行
干潟で休息
- 10.21 [弁天下] ヲウゲ` 吉田隆行
用水路の高所で休息、飛翔
- 10.22 [布施 (あけぼの山公園)] アカ`ラ(1) 船津登
木に止まり鳴く
- 10.24 [片山 (手賀の丘公園)] オカ(1) 船津登
木に止まる
- 10.24 [片山 (手賀の丘公園)] アカ`ラ(1) 船津登
鳴き声、ドラミング
- 10.24 [片山 (手賀の丘公園)] ヒ`サ(1) 船津登
フェンスに止まる
- 10.25 [江蔵地] ヒ` (1) 鈴木静治
上空でハヅ`ガ`ス3羽にヒ`ン`グ`される
- 10.25 [片山新田] フユ(1) 船津登
葦原の上を飛び葦原に入る
- 10.25 [日の出] ノリ(1) 松本勝英
- 10.26 [片山 (手賀の丘公園)] クジ` (1) 船津登
地上で採食
- 10.26 [中峠] ヲウゲ`ホ`ウ 松本勝英
- 10.27 [片山 (手賀の丘公園)] ヒ`サ(2) 船津登
小枝に止まる
- 10.27 [片山 (手賀の丘公園)] アトリ(1) 船津登
桜の木に止まる
- 10.27 [片山 (手賀の丘公園)] ヒ` (1) 船津登
桜の木に止まる
- 10.29 [戸張柏学園上空] ノリ(1) 吉田隆行
カラスにモビングされていた
- 10.30 [中峠] ヲウゲ`ホ`ウ(2) 松本勝英
- 10.30 [中峠] アカ`ラ(1) 松本勝英
- 10.30 [中峠] ノリ(1) 松本勝英
- 10.30 [中峠] ヒ` (1) 松本勝英
- 10.31 [片山 (手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(6) 船津登
- 11.1 [千間橋] ミコ` (1) 鈴木静治
飛んで来て鉄塔下部にとまる
- 11.1 [発作] フユ(2) 鈴木静治
河原上を飛ぶ
- 11.1 [布瀬] ヲウゲ`ホ`ウ(1) 鈴木静治
鉄塔上を飛ぶ
- 11.1 [布瀬] ヒ` (1) 鈴木静治
鉄塔下部にとまる
- 11.1 [泉村新田] ノリ(1) 船津登
電柱に止まる
- 11.2 [江蔵地] アカ`ラ(1) 鈴木静治
河原の柳より鳴きながら飛立つ
- 11.02[江蔵地]カシタ`カ(10) 鈴木静治
径より飛び立ち柳の木に止まる
- 11.3 [酒井根 6 丁目下田の森] アカ`ラ(1) 飯泉仁
北側斜面林を鳴きながら移動
- 11.3 [岡発戸新田] ヒ` (1) 鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出夫・金子雅幸
上空を飛ぶ
- 11.3 [岡発戸新田] フユ(1) 鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出夫・金子雅幸
沼の上空を飛ぶ
- 11.4 [発作] ノリ(1) 飯泉仁飯・泉久美子
県道沿いの電柱に止まっていた
- 11.4 [江蔵地] ノリ(1) 鈴木静治
飛んで来て鉄塔下部にとまる
- 11.07[手賀沼]ヒ`ン`ク` (1) 金子雅幸・桑森亮・船津登
下沼 1 調査
- 11.07 [手賀沼] ミコ` (2) 金子雅幸・桑森亮・船津登
上沼 1,下沼 1
- 11.07 [手賀沼辺] ヒ` (2) 金子雅幸・桑森亮・船津登
上沼 1,下沼 1
- 11.07 [手賀沼辺] オカ(1) 金子雅幸・桑森亮・船津登
上沼 1
- 11.07 [手賀沼辺] ハヅ`サ(1) 金子雅幸・桑森亮・船津登
上沼 1
- 11.07 [中峠] ヲウゲ` (5) 松本勝英
水路で 5 羽纏まっていた
- 11.07 [中峠] ヒ` 松本勝英
- 11.07 [中峠] ノリ 松本勝英
- 11.08 [泉村新田] ノリ(1) 船津登
電柱に止まる
- 11.08 [片山 (手賀の丘公園)] ヤマガ`ラ(6) 船津登
- 11.08 [片山 (手賀の丘公園)] ヒ` (6) 船津登

- | | | | |
|------------------------------|-----------|--------------------------|-----------|
| 松の木から水場に下りる | 船津登 | 時折水場に降り飲む | 吉田隆行 |
| 11.08 [鷺野谷新田] ノリ(1) | | 11.17 [手賀の丘公園] アトリ | |
| 電柱から田に下りる | 船津登 | 時折水場に降り飲む | 吉田隆行 |
| 11.10 [千間橋] ノリ(1) | | 11.18 [別所] ヲドリ約 10 | |
| 堤防上の道でカガモを食べる | 鈴木静治 | 枝が覆う池の縁で休む | 鈴木静治 |
| 11.10 [千間橋] ヒ(2) | | 11.18[宗甫]キョウバシロ(1) | |
| ハシロガラスにヒツグされる | 鈴木静治 | 池の中を泳ぐ | 鈴木静治 |
| 11.10 [浅間前] ヲウゲノボウ(1) | | 11.18[片山(手賀の丘公園)]カワガカ(4) | |
| 田の上を飛んで電線にとまる | 鈴木静治 | 草原から飛び木に止まる | 船津登 |
| 11.10 [布佐平和台] ヤガラ(1) | | 11.19 [光ヶ丘廣池学園] ヤガラ(1) | |
| 電線にとまり鳴く | 鈴木静治 | ハシロの実を食べに飛来 | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.12 [北柏ふるさと公園] アガラ(1) | | | |
| 木に止まる | 船津登 | | |
| 11.12 [大井新田] アリス(2) | | 今回寄せられた鳥の全種名 | |
| 柳の木に止まる | 船津登 | アオサギ、アオジ、アカゲラ、アカハラ、 | |
| 11.14 [大井新田先手賀沼] ミガ(1) | | アトリ、アネハヅル、アマサギ、アリスイ、 | |
| 杭の上で休む | 飯泉仁・飯泉久美子 | イカル、イソシギ、イソヒヨドリ、ウグイス、 | |
| 11.14 [片山] 材カ(1) | | ウズラ、ウソ、エゾビタキ、エナガ、 | |
| 林縁上空を飛翔 | 飯泉仁・飯泉久美子 | オオジュリン、オオタカ、オオバン、オオ | |
| 11.14 [片山新田先手賀沼] ノリ(1) | | ヨシキリ、オカヨシガモ、オシドリ、オナ | |
| 電柱に止まっていた飯泉仁・飯泉久美子 | | ガ、オナガガモ、カイツブリ、カケス、カ | |
| 11.14 [片山新田先手賀沼] ミガ(1) | | シラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、 | |
| 水面の杭に飛来 | 飯泉仁・飯泉久美子 | カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キジ、 | |
| 11.14 [名戸ヶ谷] 材カ(1) | | キジバト、キセキレイ、キビタキ、キンク | |
| ツグミにヒツグされ上空を移動 | 飯泉仁・飯泉久美子 | ロハジロ、クイナ、クサシギ、クロジ、ク | |
| 11.14 [鷺野谷新田] ノリ(1) | | ロハラアジサシ、コアジサシ、ゴイサギ、 | |
| 電線に休んでいた | 飯泉仁・飯泉久美子 | コガモ、コゲラ、コサギ、コサメビタキ、 | |
| 11.14 [手賀の丘公園] ヤガラ(5) | 船津登 | コチョウゲンボウ、コブハクチョウ、サシ | |
| 11.14 [北柏ふるさと公園] アリス(1) | | バ、サメビタキ、サンコウチョウ、シジュ | |
| 木から木へ移動 | 吉田隆行 | ウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、 | |
| 11.14 [第2 機場] カワガカ(2) | | スズガモ、スズメ、セイタカシギ、セグロ | |
| 木に止まり鳴いていた。 | 吉田隆行 | カモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサ | |
| 11.15 [鷺野谷新田] ヲウゲノボウ(1) | | ギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウサ | |
| 電柱に止まる | 船津登 | ギ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、 | |
| 11.16 [北新田] ヒ(1) 飛翔 | | ツツドリ、ツバメ、トビ、ノスリ、ノビタ | |
| 畠中暁美・浅野利幸、松田幸保他 10 名 | | キ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブ | |
| 11.16 [北新田] ヲウゲノボウ(2) 飛翔 | | トガラス、ハシボソガラス、ハジロカイツ | |
| 畠中暁美・浅野利幸、松田幸保他 10 名 | | ブリ、ハヤブサ、バン、ヒドリガモ、ヒバ | |
| 11.16 [北新田] ノリ(1) | | リ、ヒヨドリ、ベニマシコ、ホオジロ、ホ | |
| 水田の杭。水田から飛び立った。 | | シハジロ、マガモ、マヒワ、ミコアイサ、 | |
| 畠中暁美・浅野利幸・松田幸保他 10 名 | | ミサゴ、ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、 | |
| 11.17 [片山新田(手賀沼側)] アリス(1) | | モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ | |
| 鳴き、草原から飛び木陰に入る | 船津登 | 以上 99 種 | |
| 11.17 [片山新田(手賀沼側)] ハニマシ(1) | | < 番外種 > カワラバト、コジュケイ | |
| 草原を動く | 船津登 | | |
| 11.17 [手賀の丘公園] ヒ(3) | | | |

今回の投稿者の総投稿件数		中西榮子	3
浅井芝樹	1	畠中暁美	3
飯泉仁	166	畠中暁美・浅野利幸・	
飯泉仁・飯泉久美子	198	松田幸保他 10 名	29
飯泉久美子	2	畠中暁美・桑森亮他 10 名	28
小山雄司	7	平岡考	8
金子雅幸・桑森亮・船津登	69	船津登	174
桑森亮	52	松本勝英	54
桑森亮・船津登・金子雅幸	3	百瀬喬	10
鈴木静治	320	吉田隆行	43
鈴木静治・船津登・間野吉幸・		総計	1,215
池田日出夫・金子雅幸	25		
鈴木静治・船津登・間野吉幸・			(弘實和昭)
池田日出夫・百瀬喬	18		
田中功	2		

【会員だより】(ab-yacho より)

【あけぼの山公園のエゾビタキ】 2016.10.2 田中功

今朝 10 時頃、あけぼの山公園（柏市布施）にて、エゾビタキが計 3 羽、桜の樹々や、周辺の木々の枝で、個別バラバラ行動で採餌・枝移りなどしているのを観察しました。

【セイトカシギ、手賀沼に再来】 2016.10.2 百瀬喬

10 月 2 日の朝 8 時半ごろ、カラーリングをつけた と、 の幼鳥と思える 2 羽のセイトカシギを観察しました。9 月末に再来したとの情報を得たその日は空振りでしたが今日出会えました。親子(?)で仲良く採餌してエビなどを食べていました。その後 5 日にも確認しました。

【クロハラアジサシとアリスイ@手賀沼】 2016.10.10 平岡考

10 月 10 日に南下するヒヨドリの群れが見られるかと思い、(私としては)早起きして手賀沼上沼の南岸に行ってみました。この日は群れがいくつも南下するようすは見られず、秋の渡りの盛りという印象ではありませんでした。でも、かなり遠くの湖水の上をクロハラアジサシの幼鳥が 1 羽、巡回しているのが見えました。双眼鏡だけでしたので現場では小型のカモメ類のような感じで水面の上空を岸をなぞるように巡回し、水面にダイビングせず、くるりと旋回するようにしながら下りてまた上るといった行動から、クロハラアジサシ類としかわかりませんでした。写真を家で拡大してみても確認できました。

さらに、湖岸のアシ原の木にアリスイがいました。「手賀沼の鳥」ではアリスイは 12 月～4 月まで記録があることになっていますが、「手賀沼の鳥」では秋にも記録が出ていて 9 月 1 例、10 月 1 例、11 月 2 例あることになっています。

【中峠に野鳥たちの賑わい】 2016.10.14 松本勝英

猛暑と曇天ですっかり静かだった中峠に野鳥たちが戻ってきた感じです。水路にホシゴイが初見参した後、この一週間で、チョウゲンボウ、エナガ、クサシギ、オオタカ、トビ、カワセミ、オナガそして今日はキセキレイまでが。

チュウサギとモズの天下がまだ続いています。ツバメが減ったり徐々に冬バージョンになりつつあるようです。

【10月の野鳥観察から】

2016.10.20 桑森亮

- ・平岡さんの鳥だよりもあったクロハラアジサシを最近よく見かけます。曙橋の杭に止まっていることもあります。
- ・カモが見られるようになってきましたが、移動中に羽を休める程度で、手賀沼には落ち着いていないようです。コガモは相当数が定着しているようですが、今年はオナガガモが少なく感じます。
- ・今年はカケスが 많이 ようで、声がよく聞かれ、姿も観察できます。ヤマガラも 많이 ように感じます。

【印西の水鳥について】

2016.10.30 古出洋子

この寒空の中、亀成川を愛する会主催の「ケビンと秋の実を見つけよう」に参加してきました。途中ニュータウン牧の原駅北側の調整池にマガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、オオバンなど30数羽おりました。ここでケビンさんは、「僕は鳥には詳しくありませんが、カモ類には2種類あり、水上で体を高く保っているものは水面採餌や逆立ち採餌をし、飛び立ちも垂直にし、潜って採餌するものは飛び立つ時に水面を蹴って助走することで違いが判る。」と説明されました。すぐ近くの上池には例年通りオシドリが来ています。

【手賀川付近にカンムリカイツブリが多いようです】(はがき) 2016.11.8 小山雄司

JBF(5日)の帰路、峠下付近にカンムリカイツブリ8羽が浮んでました。7日朝、水道橋方向へ行きましたらホシハジロ6羽、白鳥6羽、カンムリカイツブリ6羽、フィッシングセンター水門付近にカンムリカイツブリ8羽、オオバン、カワウ多数の出現です。今年は「カンムリ」が手賀川の方にいるようですね。(風が強いせいでしょうか)

【11月北新田探鳥会でのこと】

2016.11.16 畠中暁美

今月は、ミヤマガラス、タヒバリ、ツグミ、ジョウビタキなど冬鳥が結構揃いました。タゲリを除いて……。それに比べて、ダイサギ、コサギが少なくなっていました。タヒバリは群れて、田んぼからピッピピッと鳴きながら飛び立つものが多かったです。猛禽類、サギ類はどこに行ったのか？コサギ1羽発見だけでした。でも思いがけずミヤマガラスに遭遇、タヒバリはとても多かったです。カワセミは、あちらこちらで縄張り争い、美しい色からは想像できませんが……。

【中峠に冬の常連たちが到着】

2016.11.16 松本勝英

相変わらず、キセキレイは私にとっては吉兆のようです。予感通り、今日、ツグミ一群(初認は13日2羽でしたが)6羽+樹上と畑で会えました。いつもの水路では、クサシギだけでした。間もなくノスリが竿先に静止状態で、続いて土手沿いの草地でタゲリ(3)、林に入るとアオジ(5+)、気をよくして北新田まで足を延ばすとカシラダカ(冬羽数羽)に恵まれました。後半3種は、今季初認です。

【今年はアオジが少ない?】

2016.11.22 平岡考

越冬鳥の到着ということでは、今年はアオジが少ないと、山階鳥研の職員が秋の渡りのシーズンに出かけている日本海側の調査地でも言っているようです。たしかに例年ですと11月前半には、通勤途上の市役所前のバス停から職場までの7~8分のあいだに生垣、こちらの草むらと、あっちでもこっちでも「ツツ」というアオジの声が聞こえる朝があって、アオジがまとまって到着したかなと感じるのですが、今年はそういう朝がまったくないようです。皆さんのところではいかがでしょうか?

野鳥歌壇&俳壇

- ・カワウの曳く水脈^{みづな}につきゆき滑りたし
風のない日の秋のみずうみ
- ・ひさしぶりに探鳥会に顔出せば
「おや珍しい」希少種かわれは
- ・ふとっちょの五位鷺^ろ1羽立つみれば
異国の首領^{しゅりやう}だ日本危うし

【詠み人：岩田】

会からのお知らせ

<新入会員紹介> 坂元貴子（我孫子市在住）
Tumendelger Khumbaa、Oyuntsetseg Bauuu 夫妻（モンゴル在住）
斎藤寛和、斎藤美香夫妻（モンゴル在住）
斎藤登美子（我孫子市在住）

<ご寄附> 台湾、モンゴル歓迎会の有志よりご寄付を頂きました。
厚くお礼申し上げます。

<リンク紹介> 昨年12/3、山階鳥研の平岡さんからの ab-yacho を次に紹介します。
山階鳥研の平岡です。今年は鳥インフルエンザの報道が各地から聞かれます。首都圏ではついに水戸のオオハクチョウから H5 型の鳥インフルエンザという報道が流れました。
下記リンクは鳥博友の会の会報「オオバン」です。
鳥インフルエンザに関してバードウォッチャーとしてどういう対応が必要かという点で、
下記リンク（PDF の 8~9 ページ）の小泉さん執筆の記事は有用かと思えます。

記

小泉伸夫. バードウォッチャーの身近な問題 鳥インフルエンザ. オオバン no.59,
<http://acmbs.sakura.ne.jp/hp/tomo/ooban/ooban59.pdf>

* 当該 ab-yacho (No. 01990) から、ぜひご一読ください。

ほーほーどり No. 254 (2017年1~2月号)

発行 2017年1月1日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、千葉洋、野口紀子、松本勝英、
宮下三禮

事務局 〒270 1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel : 04-7182-3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円（大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料）